

## 事業所における自己評価総括表

公表

○事業所名	ソレイユの森宮の沢 児童発達支援		
○保護者評価実施期間	令和6年12月2日	~	令和7年1月11日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	45	(回答者数) 35
○従業者評価実施期間	令和6年12月2日	~	令和6年12月21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 15
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年1月13日	○公表日	令和7年1月24日

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	運動療育を中心とした児童発達支援、放課後等デイサービスを行うための専用施設があることで、利用する子どものニーズに合わせた幅広い活動を展開することができること。	運動のスキルや技術の習得のみが目標にならず、集団で行う運動から地域生活に向けた総合的な支援につながるよう、内容の工夫や、チーム分け、職員の加配を調整することを意識している。	専門的支援実施加算の充実と支援提供時間を必要に応じ調整することで、より個別のニーズに沿った支援を充実させていく。
2	子どもが当事業所に意欲的に楽しんで通えるよう活動内容を日々に立案し、活動に飽きないよう工夫していること。	体を動かすことが得意な子、または、集団や運動に苦手意識がある子すべてが意欲的に通えるよう、運動活動にテーマをつけてたり、ストーリーをつけることで、当事業所の活動にそれぞれの子どもが満足できるよう工夫している。	職員の質の向上に努め、子どもたちを楽しませることに慢心しないよう日々の療育の反省や、意見交換を行っている。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	幼稚園、保育園や他事業所との連携の機会を十分に設けられていない。	通所している子どもの幼稚園や保育園の様子を職員が見学することや、特定の子に対し、支援の話し合いを設けることがあるが、一部でとどまってしまっている。	当事業所が園や他事業所との連携をとれることや、そのメリットを保護者へ周知し希望があれば連携の機会を積極的に設けていく。また、地域生活の様子を収集するために積極的に見学や会議等を行っていく。
2			
3			

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果								
事業所名	ソレイユの森宮の沢 児童発達支援		公表日	令和7年1月24日				
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	35				広く運動しやすいスペースだと思います	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	33			2		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思います。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	30	2		3		・保育室、ホール、体育館の活動にあたり、それぞれの部屋での活動が明確になっています。ホールでのサークル活動は順番や活動場所の区切り方等、わかりやすくなるよう設定しています。 ・バリアフリーに関して、階段の昇降が必須になるので通所時にケガが起きないよう職員配置を徹底しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こど達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	35					
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	35				子どもが興味を持ちそうなストーリーなどを交えながら運動するシステムになっていて楽しそう	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	29			6		年度内に公表予定です。 公表内容と差異はありません。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	35					
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	35					
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	35				子どもの特性に合わせて無理のないようなプログラムになっている	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	32			3		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	17	2	4	12		・保護者からの希望が少ない事や、それを望まない保護者もいるので、参加形式や回数等、事業内容の調整と検討をして参ります
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	35					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	35					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	19	1	2	13		・ご家庭との情報共有とともに子どもたちとのより良い関わり方等を具体的に伝えることや、困りや悩みに沿った面談の回数を増やし、ご家庭への支援の幅を広げていくけるよう窓口の見直いや、支援が充実できるよう整えていきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	35				送迎の際に子供の様子を聞くことができ 親から話すことも十分にできます	

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	35			定期的に面談をし、困っていることをアドバイス頂いたりしています	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	35			子どものケガにも親身になって考えてもらっている	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。		12	20		発表会や茶話会などの開催を検討します。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	35			よく相談させていただいており、幼稚園での様子を見に行ってもらったりと迅速に対応してもらっています	
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	35				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	20		10		・基本的に毎月発行し皆様に配布しています。お渡しそびれないよう注意を払っていきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	31		4		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	21	2	3	9	契約時に説明していますが、マニュアルの有無について周知が至らない結果になったので、再度お便り等で発信しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	25		10		・年に2回以上、定期的に避難訓練を行っています。 ・LINEやお便り等を使った保護者の方への周知がより良いものになるよう検討します。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	30		5		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	23		2	10	事故が起きていないので解りません 事故、体調不良があった際には、即保護者の方に連絡を差し上げています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	35			子どもが楽しい場所と感じ安心感を持っていると思う	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	33	2		職員のことが好きで楽しみにしています いつも楽しそうに体を動かし、本人も嫌がらず通所している	
	29	事業所の支援に満足していますか。	34	1		子どもの成長を感じとても満足しています 家ではできないダイナミックな遊びをソレイユでできているので感謝しています。	

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		ソレイユの森宮の沢 児童発達支援				公表日	令和7年1月24日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境 ・ 体 制 整 備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○				
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○				
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・部屋によって活動内容を分け、時間によつて使い分けることによって構造化を図っている。 ・施設が2Fのため入退館に際し階段の上り下りが必要になるため、子供が階段を使用する際に職員を配置することや、手すりを2段構造している		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	○				
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		事業所に面談室があるので、必要に応じ使用している。		
業務 改 善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		職員会議の中で定期的に業務について職員で話し合っている。その日の活動目標を全体で打ち合わせすることや、日ごとの反省を全体で共有している。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		内部研修を定期的に行っている他、例年は、外部研修に意欲的に参加し、職員間での情報共有や知識向上のために研修報告の場を設けている		
適 切 な 支 援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		年度内公表予定		
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○				
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○				
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○				
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○				

援の提供	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>			
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>			
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	<input type="radio"/>			
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	<input type="radio"/>			
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	<input type="radio"/>			
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	<input type="radio"/>			
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	<input type="radio"/>			
関係機関や保護者との連携	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	<input type="radio"/>			
	25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	<input type="radio"/>			
	26 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	<input type="radio"/>			
	27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	<input type="radio"/>			
	(28~30は、センターのみ回答)	<input type="radio"/>			
	28 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30 (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
支援の実施	(31は、事業所のみ回答)	<input type="radio"/>			
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他の子どもと活動する機会があるか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	幼稚園や保育園と併用し通所している子どもがほとんどのため、交流の機会を設ける予定はない。祝日の外部へ出かけるときに他児と交流する機会があれば必要に応じ対応している	
	33 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	<input type="radio"/>			
	34 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	<input type="radio"/>		・ペアレントトレーニングという名目の面談を積極的に行えていないが、地域生活や自宅での様子と当事業所での様子を伝え、必要であれば助言などを面談時に行っている。	

保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	<input type="radio"/>			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	<input type="radio"/>			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	<input type="radio"/>			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	<input type="radio"/>			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		<input type="radio"/>	今年度開催できていない。今後茶話会など開催していきたい。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	<input type="radio"/>			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	<input type="radio"/>			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	<input type="radio"/>			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	<input type="radio"/>			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。				
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	<input type="radio"/>			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	<input type="radio"/>			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	<input type="radio"/>			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		<input type="radio"/>	契約時に保護者から伺った情報をもとに、事故が起きないようおやつの対応やクッキング療育の内容を検討している	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	<input type="radio"/>			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	<input type="radio"/>			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	<input type="radio"/>			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	<input type="radio"/>			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	<input type="radio"/>			